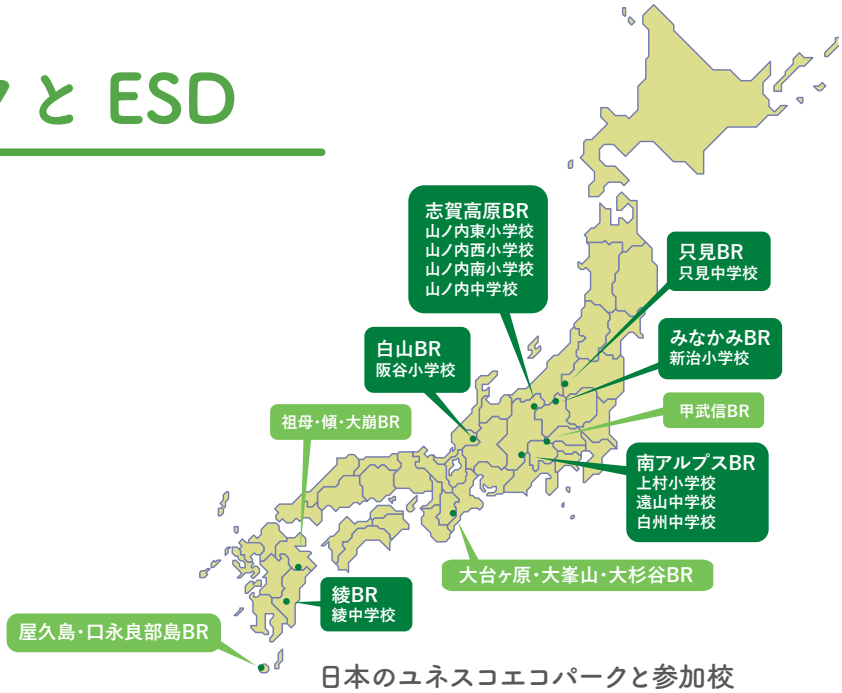
ユネスコエコパークと共に学ぼう

令和5年度 信州ESD/SDGs
ユネスコスクール 実践事例集

UNESCO Biosphere Reserve

ユネスコエコパークと ESD

自然と人の調和と共生を目指す取り組み、ユネスコエコパーク。ユネスコエコパークにはすぐれた自然や、それを守り活かしてきた歴史や文化、また持続可能な社会を目指す取り組みなどの学習資源があることから、SDGs の達成に貢献する ESD（持続可能な開発のための教育）実践の場としても注目されています。このリーフレットでは、令和5年度「成果発表＆交流会」の発表から、全国各地のユネスコエコパークを活用した ESD/SDGs の実践事例を紹介します。



日本のユネスコエコパークと参加校

テーマアイコン説明

自然

- 水
- 外来種
- 森林
- 鳥獣害
- 里地里山
- ユネスコエコパーク
- 海
- 星空
- 希少種

循環型社会

- リサイクル
- ゴミ
- 農業
- 産業
- 気候変動

伝統・文化

- 伝統文化
- 歴史
- 音楽・美術
- 生活文化
- 文化資源

共生

- 人権
- 人口問題
- ジェンダー
- 防災
- 福祉
- 町づくり
- 平和
- 国際交流

SDGs アイコン説明

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任、つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

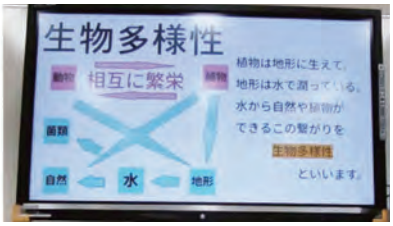
すべての SDGs 目標を包含

【福島県】只見町立只見中学校　SDGs 委員会、生徒会

地域と取り組む海を守る活動と持続可能な社会の実現のために私たちができること

海を守る取組として、プラスチックの利用抑制活動「PET FREE MONDAY」を行っています。この活動を数年前から継続・発展させることで地域、そして地球を守る活動につなげています。また、県内のイベントで新聞バッグ制作の講習を行うなどして、制作方法の普及を実践しています。さらに、貧困地域の子どもたちのために子ども服を回収するプロジェクトに参加するなど、身近な地域のことだけでなく世界に目を向けた取組も行っています。

【群馬県】みなかみ町立新治小学校　5 年生



探そう、新治の魅力

群馬県と新潟県の県境に位置する「赤谷の森」には様々な生物が生息し、共生しています。アンブレラ種であるイヌワシを生態系の筆頭として、生物多様性が保たれています。その生物多様性の保全のために、どのような取組がなされているのか、自分たちにはどのようなことができるのかを追究しました。また、イヌワシの狩り場を確保するために行われる間伐によって得られる木材（イヌワシ木材）の利活用について考えました。

【長野県】山ノ内町立東小学校　4 年生

コカリナの音色とともに思いを伝えたい

志賀高原生まれの楽器「コカリナ」についての学習で、コカリナ工房の北澤さんの「コカリナを広めたいと思っているがなかなか広まらない」という言葉から「コカリナの良さをもっと知ってほしい」「僕達がコカリナを広めていきたい」という思いを持ちました。そこで、コカリナの良さを紹介するチラシを配ったり、コカリナの演奏をしたり、学校のホームページに自分達の演奏を載せ、より多くの人に知ってもらおうと活動しています。

【長野県】山ノ内町立東小学校　6 年生

山ノ内町の魅力を調べ、発信しよう

住んでいるからこそ知っている山ノ内町の魅力と、当たり前になりすぎて気づいていない魅力があると考え、県外や海外の観光客の方へ「YOU は何しに山ノ内へ」と題したインタビューをしました。英語で質問するのは難しかったですが、慣れてくると英語で話すことが楽しくなってきました。インタビューしたことを生かして作成したパンフレットを湯田中駅前で配布したり、観光案内所に置かせていただいたりし、山ノ内町の魅力を PR しました。

【長野県】山ノ内町立西小学校　6 年生

山ノ内町を PR しよう！

自分たちの住む山ノ内町の魅力をいろんな人に知ってもらいたい。そこで注目したのが地域の伝統食はやそばと、信州の伝統野菜の前坂大根です。観光客にはやそばと前坂大根に食べてもらい、自分たちが作ったパンフレットも一緒に配ることで山ノ内町の魅力を PR しました。また、町内の学校や福井県勝山市のユネスコスクール、成器南小学校とも交流し学びを深めました。

【長野県】山ノ内町立南小学校　3 年生

リサイクルをしよう ～きれいな山ノ内町を目指して～

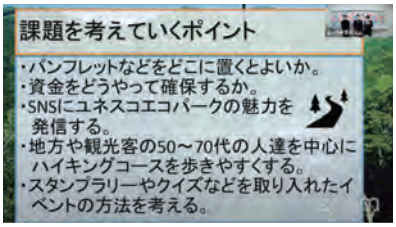
社会の地域探検の際、自分たちが住んでいる町の魅力について改めて感じることができたと同時に、ゴミが多くあることに気がつきました。ゴミ問題からリサイクルについても学習を進め、ゴミとして捨ててしまうもの（お菓子の箱、画用紙の切れ端）を使い、絵はがき作りもしました。本来ゴミになってしまうものが、リサイクルすることで新たな命が宿ることに、喜びを感じています。

【長野県】山ノ内町立南小学校　6 年生

温泉を知ろう ～地域の温泉探検～

山ノ内町には地域の方が利用する温泉（共同浴場）があります。温泉についてもっと知りたいと考え、学区内にどのくらいあるのか、数や場所を調べました。温泉を管理している方のお話を聞いたり、地域の方にアンケートをとったりして、温泉の良さや現状、課題などを知り、自分達ができることを考えたり温泉の掃除などを行ったりしました。

【長野県】山ノ内町立山ノ内中学校　1 年生



山ノ内町の魅力の再発見と活性化に向けての課題を探る

山ノ内中学校では、３年次に行う地域活性化の提言を一つのゴールに据え、ESDを行っています。１年次では、ユネスコエコパークである志賀高原について、宿泊学習等を通して生態系の保全と人間社会との共生を目指した取り組みの重要性を学びました。そして、自身が暮らす地域の観光資源である温泉に着目し、その歴史的背景や今日の宿泊業の取り組み・意識を調査しました。これらの学習を通して地域活性化に向けた課題を見出し、提言への土台づくりをしました。

【長野県】飯田市立上村小学校　3~6 年生

上村をＰＲしよう！

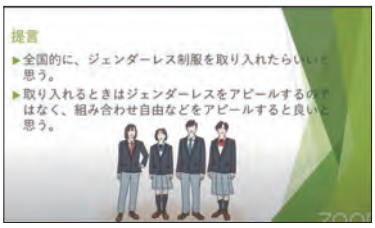
昨年度行った歌とダンスの発表「上村ＰＲ大作戦」で、上村のことをもっと伝えたいという思いをもった子どもたち。今年度は特産品の栽培、地域の清掃活動や、上村をＰＲする動画を作り、上村のことを知ってもらう活動を行いました。また、今年度は遠山郷にある他の学校とも交流を深めていきました。動画制作や交流を通して、上村や遠山郷のこれからについてもう一度考えることができました。

【長野県】飯田市立遠山中学校　2 年生

学有林を中心として、木材や林業について学ぶ活動

遠山中学校では、学有林学習を中心としながら木材や林業について学んでいます。令和５年度の学有林学習では、実際に学有林に足を運び、林道整備を行いました。全校総合の時間に行った地域の方に学ぶ会では、学有林の木を使ってベンチを製作しました。今後も学有林を通して、林業やものづくり、人との関わり考えていきたいです。

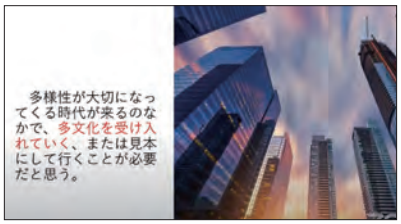
【山梨県】北杜市立白州中学校　3 年生



ジェンダーレス制服について

ジェンダー問題について注目が集まっていますが、学校のなかでジェンダーと聞いて思い浮かべられるものに「制服」があります。ジェンダーレス制服についてすでに取り入れられている学校もあるとニュース等で聞いたことがあります。ジェンダーレス制服は取り入れていくべきなのか、また、学校現場に残るジェンダー問題とは何かについて考え、誰もが気持ちよく生活ができる社会に向けて今できることを考え提言をしていきます。

【山梨県】北杜市立白州中学校　3 年生



性別の不平等について

ジェンダー問題について世界的に話題になるなかで、日本の取り組みはどのようになっているのか気になり調べる事にしました。ジェンダーに関わることで生きづらさを感じている人もいると聞いたことがあります。現在の日本における取り組みやジェンダーに対する価値観について考えることで、これからの社会を担っていく中学生として何ができるか考えていきたいと思い探究活動を行っています。

【山梨県】北杜市立白州中学校　3 年生

白州の水と災害に強いインフラ～持続可能な社会にするために～

多くの有名な企業が白州の水を求めて集まります。その白州に暮らす私たちとして、改めてその水は何に使用されているのか気になりました。貴重な資源としてある水、その水を綺麗に保ち続けるために必要なことは何かについて探究活動をしていきたいと考えました。また、災害に強い町づくりについて考えていくことで今後の白州や北杜市のために私たちにできることを提言していきたいと思います。

【山梨県】北杜市立白州中学校　3 年生

マイクロプラスチックと私たちの関わりについて

マイクロプラスチックと私たちの関わりについて、海での話題が多いマイクロプラスチックの問題に、海の無い山梨県に住む私たちは無関心で良いのであろうかと思い探究活動を始めました。世界における現状や日本における取り組み（山梨県同様に海に隣接していない県の取り組み）を調査することで、中学生である私たちにできる取り組みを考え提言していきたいと考えています。

【山梨県】北杜市立白州中学校　3 年生

平和と公正をすべての人へ

人権問題等について学習していくなかで、家庭内暴力、いじめについて興味を持ちました。小中学校におけるいじめの認知件数は上昇しつつあります。私たちの学校でも生徒会活動の中で「いじめ撲滅宣言」を行ったり、生徒が気持ちよく生活できるような取り組みを行ったりしています。私たちの生活する学校や社会において、今後このような問題が起きない世の中にしていくためにできることは何なのか考えてみたいと思い探究活動に取り組んでいます。

【福井県】大野市阪谷小学校　3･4 年生

広がれ！阪谷チャンネル☆

総合的な学習で「YouTube」を核にして地域の魅力を情報発信したいと考えた３･４年生は、地元の星空スポット、ひまわり栽培、里芋農園見学などを動画編集し発信しています。離れた場所からでも阪谷地区の魅力を感じてもらいたいです。

【福井県】大野市阪谷小学校　5･6 年生

Sakadani Star Point Project（さかだに スター ポイント プロジェクト）

阪谷地区の南六呂師が、今年ついに星空の世界遺産である「星空保護区」に認定されました！そこで、過去２年間の星空の学習で得た知識やつながり、たくさんの発信活動で培った技術を生かし、新たな『プロジェクト』を立ち上げました！それは、星空が美しく見える環境を守っていくための取り組みを記した『ポイントカード』！大野市全戸に広げました。

【宮崎県】綾町立綾中学校　生徒会

持続可能な町づくりをするための SDGs

綾中学校生徒会では「Action ～今動き出せ 私たちの未来へ向かって～」をテーマに、人とのつながりを大切にし、生徒一人ひとりが主体性を持って活動をすることを心がけ、住み続けられる町づくりへの取り組みとして、あいさつ運動やペットボトルキャップ回収･服のチカラプロジェクト･どんぐりの栽培･イオンの森調査など、SDGs を意識した様々な活動を行っています。

その他の地域での ESD

地域の資源や社会に目を向け、その持続可能性を追求する学習活動は、ユネスコエコパークに限ったものではありません。ここでは、長野県内のその他の地域の学校でのESD/SDGsの実践事例を紹介します。

【長野県】信州大学教育学部附属長野小学校　6年1組

耕作放棄地利活用プロジェクト～使われなくなった畑で自給率０％の綿花を育てる～

学校の近くで見つけた「耕作放棄地」。私たちはどうしてこんな土地があるのか、耕作放棄地が私たちにとってどんな問題があるのかという問いをもち、持ち主の方や市役所の方の話をお聞きする中で、この土地を利活用したいという願いをもちました。手作業で畑を整備し、育ててきた作物は日本での自給率が０％の「綿花」です。綿花の成長や、綿花を通して出会ってきた人たちから、私たちはたくさんのことを学び続けています

【長野県】信州大学教育学部附属松本小学校　4年生

よりよい「食」から考える、災害時における「食」

子どもたちは給食や家庭での「食」を見直したり、一食分の献立を考えたりすることを通して「よりよい『食』とは何か」について考えてきました。2学期の社会科「自然災害からくらしを守る」では、災害時における「食」に着目し、ライフラインが止まったとき家庭にある食材をどう使うかを考えたり、パッククッキングを体験したりしながら平時、非常時においても「よりよい選択をすること」の大切さについて学んできました。

【長野県】長野市立信里小学校　3･4年生

里山の生き物たち～シナイモツゴから学んだこと～

信里には、里山の重要な景観であるため池がたくさんあります。そのため池に絶滅危惧種に指定されている魚『シナイモツゴ』が生息しています。３・４年生がこの１年間シナイモツゴと関わりながら発見したことや感じたことをまとめました。里山のよさを知り、学校目標『信里を語れる子ども』の素地を作る活動です。

【長野県】長野市立東条小学校　6年生

東条で学ぶ・東条を学ぶ

地域の「里山再生プロジェクト」の活動の一環である植樹を地域の方と行いました。また、建設会社の方々と木工体験を行い、木材の循環や物を大切にすることの必要性を実感しました。ホタルを守ること・地域の環境保全のために河川付近のゴミ拾いを数回行い、ゴミが故意に捨てられたものだけではないことに気づきました。「文化財ボランティア」の方にお世話になり、豊かな自然の下で地域が古くから繁栄してきた歴史に触れました。

【長野県】茅野市立永明小学校　6年2部

給食ロスを減らし隊

6年2部では今年度給食の残食に焦点を当て、残食を減らすために自分たちで何ができるのだろうと考え、話し合いました。調理過程で発生する野菜くずを減らすために、コンポストを使った肥料作りを行ったり、残食を減らすために、放送やパワーポイントを作って発表したりと、少しずつですが残食や野菜くずが減っていくのを実感することができました。最近は野菜くずを取り込んでできた肥料を使って、肥料が完成しているか確認するための野菜作りに取り組んでいます。

【長野県】学校法人いいづな学園グリーン･ヒルズ小学校　1･2年生

Sharing the planet ～平和と紛争解決～

「平和と紛争解決」をテーマに、自分たちの身近にある平和と世界で起きていることを比べながら、自分たちの周りのケンカやすれ違いをどのように解決すればよいのかをロールプレイから学びました。また、世界の戦争を止めたい想いから、平和を伝える写真集を作成しました。

【長野県】学校法人いいづな学園グリーン・ヒルズ小学校　3・4年生

救え！私たちのりんご園！

「限られた資源を共有すること」をテーマに、自分たちが栽培しているリンゴの木の病気の原因を突き止めるべく活動をしてきました。すると、畑の手入れだけに限らず、今年の異常気象がもたらす影響の大きさが分かってきました。気候変動を今すぐなんとかしなければいけない。自分たちのリンゴ栽培から見えてきた事実に向き合います。

【長野県】根羽村立義務教育学校根羽学園　5～8年生

根羽学園 ESD

根羽学園では、根羽村にある自然、文化、そこに暮らす人々と関わりながら、様々な体験を通して探究的な学びを行っています。林業体験学習では、杉の木の苗を植えたり、総合的な学習の時間では、村の木材を使ってベンチづくりを行いました。また村の魅力を発信するテレビ番組の制作を行い、村に貢献しながら学びを深めています。

【長野県】信州大学教育学部附属長野中学校　1年生

持続可能な社会の実現に向けて（医療繊維グループ・食品製紙グループ）

学校プロジェクト、魅力発信（CM作り）、農業、防災、繊維を切り口にした５つのミッションの中から興味のあるチームを選び、テーマに関わる問いを立てて、持続可能な社会の実現に向けて「実践すること」を大切に活動に取り組みました。医療繊維グループは医療で使用される繊維について調査し分かったことをまとめました。食品製紙グループは、食品ロスとつなげて食品からできる繊維を使った製品について取材や制作をしました。

【長野県】信州大学教育学部附属長野中学校　1年生

持続可能な社会の実現に向けて（古着回収グループ・地域の魅力発信グループ）

学校プロジェクト、魅力発信（CM作り）、農業、防災、繊維を切り口にした５つのミッションの中から興味のあるチームを選び、テーマに関わる問いを立てて、持続可能な社会の実現に向けて「実践すること」を大切に活動に取り組みました。古着回収グループは、サステナブルファッションに注目した古着回収を、地域の魅力発信グループはいつも利用している長電沿線の小布施町と北斎について伝えるＣＭを作成しました。

【長野県】信州大学教育学部附属松本中学校　1年B組

地域と世界を繋ぐ ～協力・絆・個性・環境～

附属松本中学校１年Ｂ組では、「協力・絆・個性・環境」を総合的な学習の時間の理念として、８グループに分かれて活動しています。そのうち世界グループでは、世界の人々と繋がることを目的として、フェアトレードに注目をして調べたり実際にお店に行って買ったりして学んできました。また、環境グループでは、フードロスを減らすことを目的として、フードバンクに関わる人から話を聞いて私たちにできることを考えてきました。

【長野県】飯田市立飯田西中学校　家庭科

飯田西中 SDGs ～持続可能な社会に向けて自分にできることを考えよう～

自分たちを取り巻く環境問題や消費行動の課題から学習をスタートし、クラスごと地球に住む一員として何ができるかを探究しました。学習のまとめとして作成した「消費生活・環境ＳＤＧｓすごろく」を公共施設等に設置し、SDGs への理解の促進、情報発信に役立てています。異学年でも「食品ロス削減すごろく」を作成したり、食品ロス削減ポスター・地産地消ポスターを作成したりするなど、SDGs と関連を図った家庭科の授業を展開しています。

【長野県】文化学園長野中学・高等学校　中学2年生

学校周辺の歴史や文化、自然などに触れられる場所をめぐることで、地域を深く知り、後世に残したいものを探り広める

「身近な地域を深く知り、後世に遺していきたいものを探り深める」という目的で「探究活動ロゲイニング」を実施しました。これを世界発信する目的で、得られた結果を英語でまとめ、カナダにある交流校の担当教員に対面で発表した他、本校English Camp でネパールの交流校にオンラインで発表しました。今後は長野県インバウンド推進協議会、長野県国際観光推進協議会などと協働して、サステナブルツーリズムに寄与していきたいです。

【長野県】文化学園長野中学・高等学校　中学生徒会

文化学園長野中学校で取り組む 私たちの SDGs

本校生徒会で毎年取り組んでいるSDGs 活動。今年度は「ホールスクール～学校まるごと」をキーワードにし、誰もが過ごしやすい学校・社会をつくるために、みんなで目指せるものがあれば一体感が生まれるのではないかと考え、学園オリジナルSDGs を製作しました。6つのゴールを制定し、委員会やクラスで取り組んだ事例を紹介します。

【長野県】文化学園長野中学・高等学校　高校2年生 探究合同ゼミナール

学校も 自分も レボリューション！ ～ルールメイキングプロジェクト

中学2年生から取り組んできた校則問題。今年度立ち上がったルールメイキングプロジェクトで、校則改正のプロセスを学びました。法に守られず取り残された人の生きづらさを当事者だけに背負わせている現状が、校則と似ているとし、誰も取り残さない校則づくりに取り組んでいます。（日本経済新聞社 高校生SDGs コンテスト 最優秀賞受賞、マイプロジェクト長野県サミット 代表発表）

【長野県】文化学園長野中学・高等学校　高校生徒会

誰も取り残さない生徒会

本校の生徒会は、全校生徒が参加でき、誰も取り残さない生徒会を目指してきました。生徒会の民主化推進のために、評議委員会のあり方の見直し、執行部と各委員会が強いパイプを築くため、新たに大臣という役割を設置するなど様々な活動を行ってきました。私たちの将来が誰も取り残さない社会であるためには他者とのパートナーシップが必要不可欠です。今年度は生徒会がそんなパートナーシップを成長させる場になるよう努めました。

【長野県】長野西高等学校　ユネスコスクール委員会

SDGs17 の目標を高校生の目線で捉え、達成に繋げる

SDGs に関する様々な活動を通して全校生徒にSDGs をより身近に感じてもらうとともに、多角的視点からSDGs を達成することを目的として活動をしています。 フェアトレードチョコレートの販売を通して、身の回りにあるものの適正価格を知ってもらったり、竹製品の製作・販売を通して、放置竹林問題の解決につなげ、様々な人にふれてもらう機会を作りました。生徒のみならず、地域住民や地元企業との繋がりを得て、SDGs の輪を広げています。

ユネスコエコパークと共に学ぼう

令和５年度 信州ESD/SDGs ユネスコスクール 実践事例集

発行日：令和 6 年7月24日

発　行：信州大学教育学部（信州 ESD コンソーシアム）

〒380-8544　長野県長野市西長野6－ロ
TEL：（026）238-4034　mail：kyoesd@shinshu-u.ac.jp

編　集：水谷　瑞希（信州大学教育学部
信州ESDコンソーシアムコーディネーター）

この冊子は、令和6（2024）年度 文部科学省SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進事業により作成しました。

令和５年度信州 ESD コンソーシアム成果発表＆交流会の様子はこちらからご覧いただけます。
▶ https://esd-nagano.org/conference/introduction/2023/